

令和2年度 展覧会報告

【藍のファッション展】 令和2年4月7日～6月7日

※新型コロナウイルス感染症に係る休館に伴い9月6日まで会期延長

【展覧会風景】



【コメント】

4月7日より、「藍のファッション展」を開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、6月1日～9月6日に会期を延長して開催いたしました。

着物人口が減少し続けているなか、今も幅広く親しまれているゆかたを基軸に、日本の藍の衣装と藍染めの魅力を紐解く展覧会です。

会期中には、とても素敵な藍の浴衣や着物でお越しいただく姿もあり、夏の暑さの中でもとても涼しげのある展覧会となりました。

【スポーツものがたりー芦屋とスポーツー】 令和2年6月27日～9月6日

※新型コロナウイルス感染症に係る休館に伴い令和3年夏頃に延期

【芦屋の時間 大コレクション展】令和2年9月19日～11月8日

【展覧会風景】



【コメント】

芦屋市立美術博物館は、1991年3月に開館。2021年3月に、30年目を迎えます。所蔵作家126名（と歴史部門2名）の作品を一堂に展示する、名前のおりの大コレクション展となりました。

企画協力に作家の福永信氏を招き、作業風景からSNSで発信し、新型コロナウイルスの感染予防につとめ、来館できない方にも楽しんで頂けるように、作品介绍など毎日Twitter更新を行いました。

【美術と音楽の9日間 rooms】令和2年11月14日～11月23日

【展覧会風景】



【コメント】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月14日から22日に予定していた美術と音楽の8日間 rooms は、11月に延期となり「美術と音楽の9日間 rooms」として開催されました。時間とともに変化し動き続ける作品を鑑賞する場「rooms」。アーティスト、音楽家、作曲家、映像作家ら11名が、9日間にかけて様々な空間で展示・演奏を行いました。

今回は新たな試みとして、モーショングラフィックスを取り入れた広報を行い、ほぼすべてのイベントで参加者が定員に達し、YouTubeの配信も積極的に行いました。

【迷路絵本 香川元太郎の世界展】令和2年12月5日～令和3年2月7日

【展覧会風景】



【コメント】

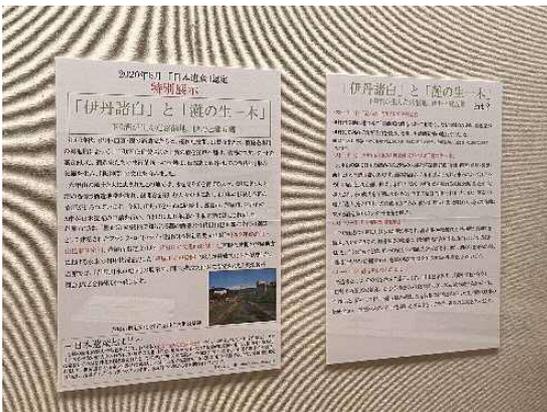
子供を中心に親子で楽しめる、香川元太郎の世界展を開催いたしました。

迷路絵本の原画 100 点、城・歴史イラスト原画 50 点を出品し、巨大立体迷路クイズラリーを実施しました。香川元太郎氏による講演会&ギャラリートークを行い、当館学芸員によるギャラリートークも、新型コロナウイルスの感染予防につとめながら、多くの皆様にご参加頂けました。

【芦屋の歴史と文化財展】令和2年4月7日～11月23日

※新型コロナウイルス感染症拡大により5月31日まで臨時休館

【展覧会風景】



【コメント】

芦屋の歴史資料を古代から近代にかけて紹介する内容で開催。6月下旬に芦屋市を含む近隣5市で申請した「伊丹諸白と灘の生一本 下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷」が日本遺産に認定され、当市の日本遺産関連文化財を7月初旬から展示しました（現在も継続中）。

また、阪急神戸本線の開業100周年に合わせて、阪急電鉄所蔵写真や、当時のパンフレットなども特別展示しました。

【昔の暮らし展】 令和2年12月5日～令和3年2月21日

【展覧会風景】



【コメント】

「昔の生活」をテーマにした展示のほか、文化財展から引き続き「日本遺産関連展示」、新たに芦屋市に寄贈された「打出焼」のコレクションの展示を行いました。

「打出焼」は、芦屋市の郷土史に多大な功績を残されている藤川祐作氏から藤川祐作コレクションとして一括で寄贈を受け、その内の一部を展示しました。また、市内で仕立屋を営んでいた方のご遺族から当時（戦前～戦後）の職人道具の寄贈があり、こちらも展示を行いました。

【保育所との連携事業】

【展示風景】



【コメント】

10月から市内保育所との連携事業として、児童が作成した絵を館内に展示しました。展示中は各保育所から団体で来館（計150名程度）され、展覧会と合わせて観覧されました。